

万円（前年度比6・9割の増）で、歳入の16・7割を占めます。その他に、国庫支出金が6億7,142万8千円（前年度比58・4割の増）町債（借入金）が6億560万円（前年度比3・8割の増）、県支出金が3億3,614万2千円（前年度比11・9割の増）、となっています。

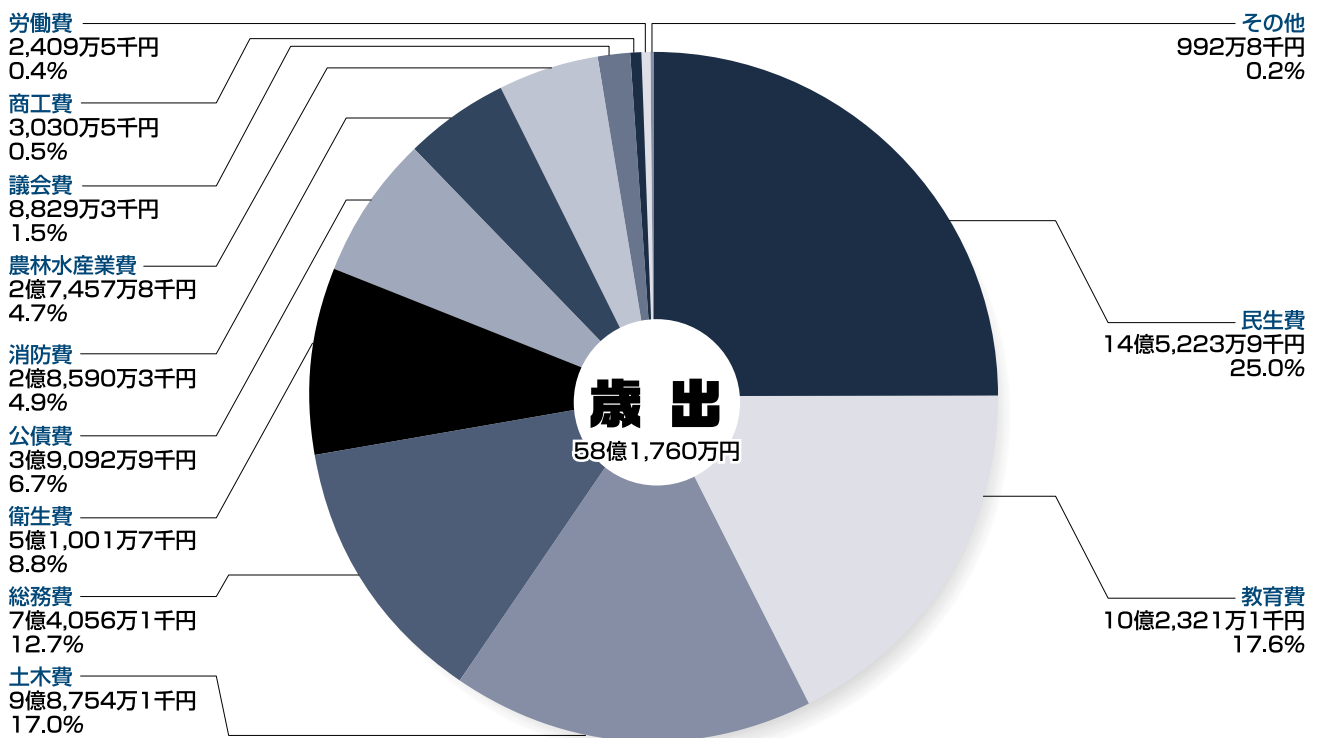
歳出（一般会計）

歳出を性質別に見てみると、扶助費（福祉・医療扶助等）が8億4,872万7千円（前年度比5・4割の減）、人件費が8億2,158万6千円（前年度比7・4割の減）、公債費（借入金返済）が3億9,091万9千円（前年度比8・0割の増）で、歳出に占めるこれら義務的経費の割合は35・4割です。

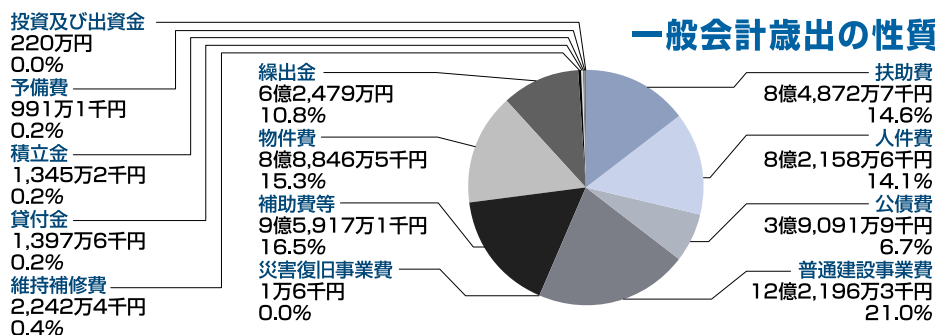
福祉・医療扶助においては、小児化対策および子育て支援対策として、妊婦健診の充実を図るための助成を2回から5回へ増やし、不妊治療費の助成を新設するとともに、医療費の無料化を中学生までの通院および入院に拡大

いたしました。

投資的経費である普通建設事業費は12億2,196万3千円（前年度比50・2割の増）となっています。普通建設事業費の主なものとしては、国のまちづくり交付金事業を活用した大型の投資的事業として、明治小学校のプール改築事業のための実施設計等業務委託料および用地買収費に7,150万円、宮田大藪線や漆原南原線など道路新設改良事業に5億2,324万6千円、南下古墳群を活かした公園整備を進めるため、用地買収費および補償費として2億8,305万円を計上いたしました。その他にも、駒寄学童保育施設の建設へ向けての調査設計委託料として200万円、吉岡中学校冷暖房設備改修事業に1億790万4千円を計上するなど、福祉の充実や教育環境の整備に積極的に配分した予算となっております。



一般会計歳出の性質別内訳



予算の主な使い道

☆印は新規事業 (単位：千円)

◎産業・商業振興

渋川広域組合負担金 (農業共済事業)	9,888
群馬用水事業負担金	11,914
県治山事業負担金	2,000
☆ 渇水対策施設揚水ポンプ交換工事	28,686
商工会振興事業補助金	7,000
中小企業制度利子補給	5,823

◎民生・保健・福祉

温泉施設等管理事業	33,546
☆ 駒寄学童保育施設調査設計委託料	2,000
児童手当支給	207,760
保育園運営委託料	404,436
障害者福祉費	11,542
障害者地域生活支援事業	34,231
障害者自立支援費	147,097
予防接種委託料	25,768
☆ 妊婦健康診査 (5回まで無料化)	7,594
☆ 特定不妊治療助成	1,500
渋川広域組合負担金 (塵芥施設)	112,439
ごみ収集委託料	38,107
福祉タクシー給付費	682
介護保険事業特別会計繰出金	124,941
☆ 医療福祉費 (通院・入院とも中学生まで無料化)	182,086
☆ 後期高齢者対策事業	119,298
国民健康保険事業特別会計繰出金	100,000

◎まちづくり・生活環境整備

町道維持補修工事	27,033
町道新設改良工事 (まちづくり交付金関連事業)	297,137
浄化槽設置整備事業費補助金	6,720
宮田大藪線新設改良事業 (まちづくり交付金関連事業)	156,109
漆原南原線新設改良事業 (まちづくり交付金関連事業)	70,000
道の駅設置事業	10,000
☆ ハザードマップ作成事業	10,000
☆ 耐震改修促進計画策定業務委託	4,000
公共下水道事業特別会計繰出金	261,489
農業集落排水事業特別会計繰出金	93,541
☆ 自治会制度発足に伴う補助・交付金等	10,620

◎教育・文化

マイタウンティーチャー賃金	15,693
幼稚園就園奨励費	23,722
明治小プール改築実施設計等業務委託 (まちづくり交付金関連事業)	5,500
明治小プール改築用地買収費 (まちづくり交付金関連事業)	66,000
吉岡中冷暖房設備改修事業	107,904
図書館費	27,625
文化センター費	66,840
南下古墳群整備事業調査等委託料 (まちづくり交付金関連事業)	7,309
☆ 南下古墳群整備事業用地買収費及び補償費 (まちづくり交付金関連事業)	283,050
☆ 給食センター用備品 (食器洗浄機)	34,000

一般会計および特別会計

会 計 名	当 初 予 算 額 (千円)	前年度比 (%)	構成比 (%)
一般会計	5,817,600	11.8	58.1
国民健康保険事業特別会計	1,782,257	9.0	17.8
介護保険事業特別会計	809,388	5.5	8.1
農業集落排水事業特別会計	672,196	△ 1.7	6.7
公共下水道事業特別会計	519,291	3.8	5.2
老人保健事業特別会計	156,997	△ 88.6	1.6
後期高齢者医療事業特別会計	139,983	皆 増	1.4
学校給食事業特別会計	100,114	3.6	1.0
住宅新築資金等貸付事業特別会計	9,398	△ 13.0	0.1
計	10,007,224	△ 2.6	100.0

水道事業会計

	当 初 予 算 額 (千円)	前 年 度 比 (%)
収益的 収入	385,750	0.3
支出	364,940	8.5
資本的 収入	145,744	△ 68.7
支出	284,356	△ 58.1

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額138,612千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額11,018千円、当年度分損益勘定留保資金127,594千円で補てんします。

